

第2回特別職報酬等審議会会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成30年10月25日（木）午後1時30分～午後3時30分
- 2 場 所 さぬき市役所3階303会議室
- 3 出席者 [委 員] 奈良委員、佐々木委員、松本委員、寒川委員、頼富委員、
山西委員、筒井委員、長谷委員
[事務局] 向井総務部長、中川総務課長、井出係長、淀谷主任主事
[関係課] 名倉議会事務局長、十川議事課長、中野教育部長、間嶋教
育総務課長
[傍聴者] なし
- 4 会議次第
 - 1 会長あいさつ
 - 2 議事
 - (1) 審議（議員の報酬について）
 - (2) その他
 - 3 その他
次回の会議について
- 5 配付資料（追加）
 - ・各会議の議員出席状況

6 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
事務局	<p>ただいまから、第2回目のさぬき市特別職報酬等審議会を開会致します。本日は、御多忙のところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>さぬき市特別職報酬等審議会条例第5条第2項に、「審議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。」と規定されております。</p> <p>本日、委員さん8名のうち、全員の方が出席されておりますので、会議として成立することを御報告申し上げます。</p> <p>続きまして、本日の会議には、本日新たに会議に出席しております、事務局側の職員の自己紹介をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">〈事務局自己紹介〉</p>
事務局	<p>それでは、開会に当たり、奈良会長からご挨拶を賜りたいと思います。</p>
会長	<p>こんにちは。</p> <p>前回、3役の市長、副市長、教育長の報酬額について、御審議いただきまして、粗方の結論が決まったと思います。</p> <p>本日は、議会の方を中心に話し合い、全体の意見を集約したいと思います。概ね2時間程度の会議にしたいと思いますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここからは、会長に議事進行をお願いしたいと思います。奈良会長、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、審議に入るに当たり、委員の皆さんに改めて、確認とお願いを申し上げます。</p> <p>前回の審議会において、決定しましたとおり、さぬき市附属機関等の会議の公開基準により、本審議会は、「公開」としております。</p> <p>したがいまして、この場での御発言も含めて、審議の内容は公開されますが、それぞれのお立場から忌憚ない御意見をいただきたいと思っております。</p>

	<p>そのためにも、活発な審議となりますよう、また自由な発言の場となりますよう議事の進行に努めてまいりますので、何卒、御協力をお願いします。</p> <p>まず、前回の審議内容について再確認をいたします。前回は、市長、副市長及び教育長の給料の額について御審議いただきました。3役の給料については、人口減少や地方交付税の縮小により財政状況が、今後ますます厳しくなることから、減額の意見も強く出たものの、3役の職責の重さ、景気の回復等も踏まえ、皆さんのご意見を集約した結果、現状維持とする。ただし、答申書の作成にあたり、今後の財政状況等を鑑みたくえでの厳しい意見が出た旨を盛り込むことで意見集約させていただいたということで、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次第に基づきまして、議事（1）審議（議員報酬の額）に入りたいと思います。</p> <p>最初に、前回配布された資料に、追加された資料がありましたので、その内容について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	〈追加の配布資料に基づき、各会議の議員出席状況等の説明〉
会長	ただ今の説明につきまして、何か御質問等はございませんか。
委員	本会議でも休まれる方がいらっしゃるのだと思った。
委員	要するに今の説明からすると、年間平均60日間ほど正式な会議が行われており、年間の6分の1なので、1週間に1回か2回かの勤務にはなるが、その他の議員活動をたくさんされているということで良いでしょうか。
事務局	はい。
会長	議員が21名だとすると、ずっと3人が休んでいるのではないですよ。
事務局	はい。本会議日数でいうと、20日で議員さんが21名になるので、20日×21名で420日間の間に3名がどこかで休まれていたことになる。

会長	ずっと休まれている訳ではないので、すごく多いということではない。
委員	すごく多くはないけれども、議員さんは、これが仕事ですから、この日は、仕事ですよと言われた日に、来ない理由があるのかな？と思うだけ。
事務局	欠席される主な理由は、体調不良や通院の関係かと思う。
委員	通院で休むことが、まかり通っていることは聞いたことある。
会長	それでは、前回の資料の17ページ等と今回の追加資料を参考に議員さんの報酬に関するご意見をどなたからでもお願いします。
委員	<p>前回と違って、今回は非常に悩ましくて、類似団体の中でも人口・財政力の似た団体を見ると、10万～5万さぬき市より低い額になっているところが、前回の3役と大きく違うところだと思っている。ただ、県内の資料を見ると、概ね横並びであることから、自分の気持ちが定まっていなこともあり、皆さんの意見を聞いてみて自分の意見を決めたいと思う。</p> <p>もう一つは、今度から議員定数が20名になるということで、例えば、5万円減らすと、100万円、それが、12か月と期末手当があるので、年間1,600万円ほど浮くと、今回は、総支出額として、20倍して検討しないといけないといけないので、これを減らすことによる効果が大きいのはよく分かる。ただ、さぬき市と香川県内での比較は、あまり大差がないということで、皆さんの意見を参考にさせていただきたい。</p>
委員	<p>市の議員さんは視察に行かれるようだが、福岡県的那珂川市の財政力指数が0.7%、実質公債費率が3.7%でさぬき市より裕福な市で人口規模は、同じようなところらしいが、そこでも議員定数は17名で、月の報酬は、30万円程度で、全国的に見ると結構シビアなところが多いなど。そのまちの財政に比例したものを出しているのかなど。</p> <p>ただ、来年春には市議会議員選挙があるので、できれば、やる気のある人に立候補して欲しいとなると、今の仕事を置いておいて、4年間、没頭しなければならぬとなると、ある程度の報酬額は確保して生活がやっていけるものでないといけないと思う。しかし、さぬき市の規模で、議員定数が20名ってというのは、どういうこと？となる。</p>

	<p>自分たちの財政が厳しいのであれば、自分たちが、もっと人数を減らすという判断もあっていいのかなど。優れた人たちに高い報酬を支払うという発想にさぬき市がなっていけばいいなと思う。</p> <p>定数は、20名と言うのは決まったのか。</p>
事務局	はい。先月の定例会にて、条例改正をして、決まっている。
委員	それについて、本来、議員定数とか議員報酬と言うのは、議員が決めるものなのか。市民の代表であるからという特権だけで、自分たちで決めるのか。それとも条例で決められているものか。
事務局	条例で定められている。
委員	それは、おかしいと思う。
会長	報酬額については、御意見があるか。
委員	報酬は、若い人にはどんどんなってもらいたいが、若い人になる場合は、生活保障が無いといけない。しかし、ある程度の年齢になるとシフト的に考えると、さぬき市の情勢に合わせて報酬を考えるのが、市民側の気持ちとしては、妥当かと思う。
委員	報酬額しかこの審議会では決めないのか。
会長	二人からの報酬の決め方・定数の決め方についての質問があったが、事務局の方から説明をお願いできるか。
事務局	議員定数については、地方自治法上、条例で定められることとされている。先般、議員定数が21名から20名になった経緯としましては、議会の内部において、議員自らが検討した上で、議会から提出議案として、先般9月議会において、条例の改正案が可決されたという経緯。

	報酬額についても、条例で定めているもので、条例の改正案は、市長提出議案若しくは議員提出議案として、提出されるとの手続になる。
委員	前回の資料の18頁のところで、条例定数と実数を示されているが、法定定数を示した方が分かりやすいのでは。
事務局	地方自治法が改正され、10年程前には、人口割の法定定数があったが、今はない。
委員	合併当時は、法定定数を採用していた。そこから、条例で定数を少しずつ減らしていると思う。その説明の方がよく分かると思う。
事務局	はい。
委員	<p>県内8市の状況を見ていただくと、さぬき市の報酬は、8市の中で、7番目。一番低いのは、東かがわ市。</p> <p>報酬と期末手当、政務活動費を足した報酬額についてもさぬき市は、7番目。東かがわ市が年間50万円低いということになっている。類似団体の坂出市より大幅に低い。</p> <p>近年は、議員をやろうという人が少なくなっている。優秀な議員さんに出ていただくことを考えると、この報酬が合併時から16年間長きに渡り変化していないが、8市の状況から見て、報酬額のアップを提言する。これから若い人にどんどん政治に関心を持っていただき、活躍していただくということで、多少でも報酬額をアップしてはどうかと提言させていただきます。</p>
委員	質問だが、議員定数はそのまま、報酬額を上げるということか。
委員	定数は、20名で、報酬額を上げるということ。
委員	(報酬額を) 上げるというのは、中身を精査していないのでは。政務活動費とか。昔は、議員さんは大勢で良かったが、これからの時代は、少数精鋭。
委員	少数精鋭だからこそ、報酬はある程度、上げて、市の発展のために頑張ってください。

委員	それは、そうだが、少数とは思えない。
委員	私は、8市の状況から判断したもの。
委員	8市はそれぞれ、規模などのレベルが違うので。坂出市は、財政力も高いので。
委員	相対的に判断したのと、これからの若い人に政治に関心を持っていただくためにも、多少でもアップすればと。報酬額が16年間ずっと変わっていないというのもどうかと思う。
委員	確かに、そういった意見も分かる。
会長	お互いの意見について述べるのは、個人の委員同士の意見交換になってしまうので、少し審議会での議論とは違う気がする。 報酬額については、政治に参加する若者が出るためにもある程度確保が必要だが、議員定数が多いのではないのかという議論になるか。
委員	財源が限られているので。
会長	定数の議論については、この審議会は諮問されていないと思うが、答申書等に盛り込むものか。
事務局	参考意見として記載することができる。
委員	財政が苦しいから。たくさん報酬が渡せば良いが、財政が苦しい中でやりくりしていかなければならない状況であるので、きちんと検討しなければならない。 今現在の議員さんの年齢層であったり、将来性であったり、今までされてきたことを考えた時に、この報酬額が安いとは思えない。むしろ、高いのではないかと思う。それで、この審議会で報酬額を上げてしまって、次の選挙で今の議員さんが残るという最悪の場合に、報酬審議会の委員として責任を重く感じる。さぬき市にこれ以上、マイナスは出せない。
会長	定数を減らしてほしいということか。

委員	報酬額をこのまま据え置かれるのであれば、定数を減らすしかない。定数がこのままなのであれば、報酬額を下げるしかないと思う。
会長	議会全体の総額で考えているのですね。
委員	はい。初めに、例示で、報酬額を下げたらと言う計算をしてくださった意見があったが、結構な額だったと思う。どちらかの道しかないと思う。
委員	月5万円下げるのであれば、と言うことで例示はした。月に5万円で20名であるから、月に100万円。年間になると期末手当等が加算されるので、1,600万円。その額に見合うだけの仕事が議員さんとしてされているのかを天秤にかけて、報酬額をどうするのかを検討したいと思う。
委員	報酬額が決まるということは、何もしなくてもその額が入ってくるということ。議員さんですから、そういうことはないとは思いますが。しかし、議員さんには勉強していただきたいので、報酬を下げてでも、色々問題があるとは思いますが、政務活動費を上げてはどうかと思う。政務活動費を使って、勉強したり、自分に力をつけたものを、どこに行き、どういったことを学んできたかをさぬき市で活用したらいいのではないかと言うものを親身に提示して、勉強会を開いたり、その内容を吸い上げたりして、議員の活動が見えるようなものにして欲しい。今は、何人かの議員さんの活動しか見えておらず、全く見えない方もいらっしゃる。それでも、議員として当選して、報酬を頂けて、ある程度の年齢に達すれば、こんなにいいお仕事はない。ではなくて、定数が決まって、少数精鋭が無理なのであれば、報酬を下げてでも、問題があるかもしれないが、政務活動費を活用した議員活動、議員としての力をつけるということ。それによって、市民から見える議員さんを育てて行って欲しいと思う。厳しい財政の中で、これだけの予算を取るのであれば、報酬を下げてでも、政務活動費を上げてはどうか。それをこなせる議員さんであって欲しいと思う。
会長	他のご意見はあるか。
委員	報酬を増やして、優秀な方、やる気のある方にどんどんこれからもいい仕事をしていただくために報酬を上げるというのは、さぬき市の状況を

	<p>考えれば、ちょっと無理があるかなと。意見に出たように、報酬を下げて、政務活動費を上げて、それをフルに活用して、どんどん勉強してもらって、育って行って欲しいというのは、非常に良いご意見だと思う。今でしたら、月額41万円という給料が安いとは、どうしても思えません。個人的な活動をしていらっしゃるんでしょと思いますが、それが見えない。見えてない人の方がはるかに多い。私が知っている限りでも、頑張っているな、勉強している、すごいなと思う方は、ほんの片手にもいないくらいしか知りません。私は、商工会の立場からこの委員になっていると思うが、それから言わせていただくと、月額41万円の給料を頂いている人は、どれくらいの地位にいる方かなと考えたら、20代、30代で41万円なんて給料を頂いている人がいるとはとても思えない。まじめに議員さんやって、一生懸命勉強して、しなくても41万円頂けるのであれば、よだれが出るほどいい仕事。増やすというのは、ありえないと思う。現状維持と言ってあげたいが、表を見る限り、他の団体と比較して、それなら、私も立候補しようかなと思ってしまう。基本、報酬額を下げて、政務活動費で、どんどん活躍するための勉強をしてもらいたい。それをみんなに分かる形で示してほしい。それを頑張ってくれるなら、現状維持若しくは、報酬額を下げて、政務活動費をそれなりに差し上げる方が妥当かなと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>かなり色々、意見が出たと思うが、表を見る限り、さぬき市の議員報酬は、今、定数を変更できない段階なのであれば、少しでも下げざるを得ないかなという気がする。ただ、他の県の状況を見てみると、四国中央市で、人口規模が大きいところで、39万1千円、議員定数が22。やっぱり少し、さぬき市より少な目の報酬かと。あと、新潟の五泉市や岐阜の恵那市もだがそんなに大都会ではないと思うが、さぬき市と同じようなところで、若干、さぬき市の方が高いかなと思うため、少し下げるといっても良いと思う。</p> <p>本当は、議員定数が、17くらいになってもやれそうな気がして、その定数であれば、今の報酬額でもいいのかなと思う。先ほど話に出たように、政務活動費を逆に上げるというのもいいのかなと思う。ただ、議員さんが多いので、かなり厳しい状況なので、いくらかでも下げられるのであれば、下げてみてはどうか。定数が少なくなるのであれば、据え置き、若しくは上げて良いとも考える。人口も減少している中で、政治家を目指す若い人が減ってきている中で、それなりの報酬がないと、若い人に「政治をなささい」と言ってもなかなか、「あんな安い給料ではで</p>

	<p>きない」という話にならないように、子育て世帯が、議員になってくれるのであれば、やはりある程度の報酬を確保しないとできないと思う。これからは、定数を減らして、報酬額を上げるというのが、本来の姿に近いと思う。今回は、定数が1名しか減らないのであれば、少し下げても良いのかなという気がする。</p>
委員	<p>先程の意見で、月額40万円頂いている方ってどういう方が事業主として考えると部長クラスで年齢的にも40歳代以上かなと思う。</p> <p>月額41万は、安いとも高いとも思わないが、議員さん方の中には、2足のわらじを履いていらっしゃる方もいる中で、会議にも年間60日程度で、インフルエンザとかになると出席できないと思うので、追加資料からは、お休みされる方も少ないなという認識。</p> <p>資料の20頁に報酬支給額の推移の中で、市長、副市長、教育長は、変動があるが、議員さんは、変わらないままで、どういった議論がされて変動がなかったのかは気になるころだ。比較したいのが、市の職員さんの給料を見てみると細かくアップダウンされている中で、一番高いときと低いときを比較すると2万円くらいの差があると思う。土日以外の平日毎日出てきて、市のために働いてくださっている職員さんの金額と年間60日程度出てきている議員さんの金額を比べてしまうと、高いのかなと思う。議会の会議に出てないところの活動が伝わってくる方とそうでない方がいらっしゃるの、減額した分は、実際に活動する方に回した方が良いと思う。</p>
委員	<p>質問で、資料の20頁で、市長・副市長・教育長が、給料を下げている中で、議員さんが一定なのは、なぜなのか。下げられない理由があるのか。下げられない仕組みなのか。</p>
事務局	<p>20頁に記載しているのは、条例で定めている額ではなく、実際に支給する報酬額になる。3役については、財政健全化策などにより、臨時的な減額措置を一定期間行っていたので、20頁の報酬の推移からすると報酬額が下がっているように見えるが、条例上、定められている報酬額については、変更はしていない。議員さんに関しては、その財政健全化策の減額措置の対象ではなかったの、この表では、変動していないということになる。</p>
委員	<p>議員さんを対象外にした理由があるのか。変更できない理由があるのか。</p>

	<p>市長さん達は自主減額をして、議員さんは自主的に下げなかったということか。報酬を勝手に変更できないのか。</p>
事務局	<p>執行部としての財政健全化策の計画上、3役は自主的に下げたもので、議会は、執行部とは異なる組織であり、その計画は執行部のみが対象となっているため、議会は対象ではない。また、自主的に下げたという経緯はない。</p>
委員	<p>自主的に下げなかったということですね。</p>
会長	<p>議会の中で、議論はあったのか。</p>
議会事務局	<p>市長等3役については、自主的に減額をされたが、議員さんとしては、自主的に減額する議論は出ていない。</p> <p>事務局からのお知らせだが、先ほど、報酬額を下げ、政務活動費を上げてはどうかとの意見があったが、政務活動費につきましては、富山市の不正利用等があった関係で、上げる環境にはないかと思う。本市では、政務活動費が、平成15年のときから、月額5万円で年額60万円だったのを議会改革の一環として、半額の月額2万5千円、年額30万円にした。議員定数に関しても、合併当時は、在任特例というものがあり、66名でした。初めての選挙で、26名。その後、選挙毎に見直しをし、22、21となり、来年の選挙時には、20名になる。このように議員さんの方でも定数の方は、市の財政状況、県内の市の状況等を考えながら、定数の見直しをしていっている状況。</p>
委員	<p>政務活動費は、領収書は1円からでも出ているのか。</p>
事務局	<p>出ている。</p>
委員	<p>全てをチェックする人はいるのか。</p>
事務局	<p>事務局でチェックしている。</p>
委員	<p>図書費とか、大まかなものではなく、「〇〇の本」というような書き方か。</p>

事務局	はい。全て明細が出ている。
委員	<p>政務活動費は、富山はひどかったが、高松市においても不透明なところがあった。そう意味合いがあつて、政務活動費を使うことは、市民にとっては、何に使うのだろうか？という状態を今は脱出していると思う。</p> <p>政務活動費は、そういうものではなくて、皆さん議員さんが各々勉強して、それを市民に知らせて、報告して、それを活かすための政務活動費ということに、一般の国民も目覚めてきていると思う。</p> <p>問題があつたから、政務活動費がいかげなものかというのは、後退している意見だと私は思う。政務活動費については、今まで不透明であつたが、議員さんが勉強のためにあるお金ですから有効に使っていただきたいと私は思う。</p>
委員	<p>議会事務局が領収書をきちんと精査されて、政治・勉強会に使われたお金というのが分かるのであれば、増やしてもいいと思う。</p> <p>しかし、分からない領収書についても入っているとすると、本当に使われているかどうかは、私たち市民では、調べようがないので、普通の人が聞いたら、誤解を受けるかもしれない。</p>
委員	<p>さぬき市は、政務活動費をこれだけ議員さんが有効に使用していますよというお手本を示していただければ、政務活動費の意味合いが市民にも浸透していくかと思う。富山県の1件があつたからと言って、政務活動費がダメだというのは、それでは、今までに国がどうして認めた活動費なのか？ということになる。</p>
委員	<p>政務活動費は、全て領収書をチェックされているということだったが、毎月の活動費を有効に使っているというか、有効に使っていない議員さんはおいでなのか。若しくは、なんだろうこの使い方？となるものはないのか。</p>
事務局	<p>政務活動費自体は、申請方式のため、必要な方だけが申請をしており、いただいていない議員さんもいらっしゃる。</p>
委員	<p>頂いてない方は、活動をしていないのか。</p>
事務局	<p>報酬の中でやりくりができた方は、申請されない場合もあるかと思う。</p>

	申請されなかったからと言って、活動をしていないという判断は安易かと思う。全員に、毎月2万5千円ずつ支給しているわけではないという意味。
委員	東かがわ市と観音寺市は政務活動費がありませんね。
委員	報酬の中でお勉強に行かれる方もいらっしゃるということですね。
会長	報酬額は下げて、それに見合う額は、政務活動費で補ってはどうかという意見ですね。
委員	定数がこのままなのであれば、報酬は下げるべきだと思う。 あとは、少し考えましょうというところ。
委員	私は、報酬額は下げて、政務活動費を自分で請求して、使うと。
会長	報酬額は下げて、それに見合う額は、反対に政務活動費である程度上げてはどうかというご意見ですね。 今までの皆さんの意見を聞いていると、上げてはどうかという意見が1名、定数がこのままだとすると下げるべきだという意見が5名と。
委員	流れ的に下げた方がいいというのが、皆さんご意見なので、ダメだとは言えないでしょう。
委員	先ほど申し上げたとおり。若い人にどんどん政治に興味をもって人口減少の中でもさぬき市の活性化のために頑張ってもらいたいと思う。
委員	先ほど、政務活動費を5万円であったのを半分の2万5千円にしていると説明を受けた。今回、例えば、報酬額を5万円下げ、政務活動費は5万円上げるので、今まで一生懸命、自分の中の報酬からやりくりしていた方も、どうぞこの政務活動費から使ってください。というところで、使える人が、きちんと使ってもらえる状況かと思う。 5万円下げるとは、とても魅力的なのは、最初に意見の中で、1,600万円という数字をたたき出して、それを4年間となると、5,000万以上のお金がこの審議会で捻出されることはすごいことだと思うし、そのお金の使い道を一生懸命、議員さんに考えていただいて、私たち市民の為にな

	<p>ることに使っていただくのがいいと思う。</p>
会長	<p>今回は、議員さんの報酬額が適正か否かを話合う場であるが、下げるとなると額まで決めるのか。</p>
事務局	<p>審議会の条例では、額について意見を聞くことになっているので、どういった額がふさわしいかというのを審議していただくことになる。</p>
会長	<p>そこまで、この審議会には求められているのか。</p>
事務局	<p>はい。それをもって答申とするので。</p>
会長	<p>議員さんにとっては、大きな問題であるため、我々の意見で大きく左右されるので、慎重に審議しなければならないとは思いますが。皆さん市民目線で考えられる方が多いので。</p> <p>私が知っている議員さんは、毎日のように活動している方もいらっしゃる、よく活動されているように思う。つまり、議会の本会議や委員会に参加したことは、ほんの一部のことで、それ以外で活動している人、お祭りに参加とかではなく、地域の為に活動してくださる議員さんを実際に見てきている。そういう人からすると、金額を下げるというのは、なかなか難しい意見かとは思いますが。私は、中立的立場なので、なかなか意見は申し上げにくいのだが。</p>
委員	<p>議員さんは、本会議には、よほどの体調が悪いとか以外は出席されている。委員会は、選べるのか。全部の委員会にも出られるのか。</p>
事務局	<p>委員会は、所属している委員会が決まっており、基本的には、所属の委員会へ出席する。それ以外でも出席はできる。</p>
委員	<p>どのような割合で出席されているのか。</p> <p>所属している委員会以外に出席している議員さんはどれくらいいらっしゃるのか。</p>
議会事務局	<p>委員会によって異なるが、他の委員会の審議状況を知っておきたいという議員さんが参加されることが多く、多いときで、7～8人。平均的に5人程度かと思う。</p>

委員	20頁の一般職の給与の額は、減っているが、誰がどこで決めるのか。
事務局	本来ならば、市の中に職員の給与を決める機関を置くべきところだが、本市は置いていない。どのようにしているかという、国や県の人事院とか人事委員会という機関が毎年、給与をどうするかを出している。そこが、首長に対し、このような給与でどうかとの意見を出し、それをどうするかは、それぞれの自治体に任されている。本市においては、県の人事委員会が提案している内容について、精査をして、人事給与担当部局が、市長・副市長と協議の上、どうするかを決定している。変動があるとなると、条例改正が必要になるため、条例の改正案を議会に上程し、議会の承認を得るという流れになる。
委員	議会にも給与改定の内容が伝わるということだが、市の職員が週5日間頑張っている中で給与が下がっているのを見ているのに、自分たちの給与については、ずっと変わらないまま。それは、皆さん何とも思わないのかな？とは思う。
委員	国とか県の勧告がないのか。
事務局	その勧告が先ほど説明したものが、その勧告。
委員	では、妥当な金額だということですね。
事務局	国や県も民間との比較により、どのようにするか決めているので、全く桁外れの金額ではない。
委員	では、下げてもおかしくはないとのこと。
委員	職員の人数も減っていますね。職員の人数も減らして、給与も減らしてということか。
事務局	そうになっている。
委員	職員の平均年齢が下がれば、給与も下がる。ラスパイレス指数があると思うが、これは、国家公務員が100とした場合の指数だ。

委員	坂出市は、高いですね。
会長	このラスパイレス指数は、一般職員ですね。
事務局	そうです。
委員	この数値は議員さんも知っているのか。
事務局	はい。
会長	議員報酬のラスパイレス指数は出ていないのか。
事務局	出ていません。
会長	私としては、3役を据え置いたので、議会の方をそれと違う結論を出すのは、相当の理由がなければ、なかなか難しいことなのかとは思いますが、皆さんの意見を勘案すると3役や職員の給与と比較すると、議員さんの報酬は高いのではないかという意見が多かったのではないかと思う。ただ、額を決めるというのが、非常に難しいと思うし、答申したからと言って、そのとおりになるかは、まだ分からない部分もあり、市長の判断や議会の議決を頂かないといけない部分もあるので。そのようなことから、例えば、私の案だが、据え置きで答申することには、やはり抵抗があるでしょうか。
委員	すごく抵抗があります。
委員	今までの意見を申し上げましたので。
委員	財政力指数など様々な指数を見ても、据え置きでいいですよというのは、言えません。
委員	もし、据え置きにするのであれば、付帯決議を必ずつけてほしい。前回の会議の時に2つ質問し、1つは、我々委員が、今回の審議会に関して、何をもって判断するのかと聞いた時にこの資料からだというふうに言った。あともう一つ質問したのが、資料の中で、類似団体というものがあ

	<p>って、人口統計などでⅡ－２になる。人口で見ると既にさぬき市は、Ⅰ－２であり、そこの類似団体になると、定数も違うだろうし、議員報酬も違う、市長等の報酬も違うと思う。比較検討する資料が変わってくると思う。その時には、下げられると思う。付帯決議として、類似団体が変わった段階で必ず、諮問をしてくださいと入れる。もう一つ、議員定数を下げるべきだとの意見がたくさん出たので、議員定数についても適正化どうかもう一度検討して欲しい旨を議員報酬と絡めて記載してはどうか。そういった付帯決議を記載する条件であれば、据え置きでも良いかと思う。他県とはかなり違うが、香川県内では、横並びなので。据え置きにするのであれば、よほどの縛りを付けた答申にしてほしい。先延ばしする形にはなるが、類似団体に変更された時に比較検討すると、今以上の下げ幅が出る可能性もある。</p>
会長	<p>何年かには、類似団体が変わる可能性はあるか。</p>
事務局	<p>可能性はあるとは思う。 平成32年に実施される国勢調査の結果に基づいて変動する可能性はある。</p>
会長	<p>そうなった場合、他の団体も分類も変わり、相対的に変動があると思う。提案だが、減額する方向で答申するが、ここで、金額がいくらだというのは、膨大な資料が必要になり計算が難しいと思う。5万円が良いのか2万か1万円が良いのか、5千円が良いのか。審議会の意見としては、厳しい意見が多数を占めたので。議会の方で自主的に減額を求めるような趣旨の答申はできるのか。 我々が、ここで判断するのは、難しいと思う。特別な資料が必要になるとは思う。</p>
事務局	<p>どのような資料が必要か御意見を頂いて、詰めていくのか。</p>
会長	<p>そんなに簡単な話ではないとは思う。我々は、専門家ではないので、どの金額が良いのかとの判断は、簡単にはできないとは思うが。</p>
委員	<p>金額を出すのは難しいと思う。</p>
会長	<p>減額の方の答申でいかがか。</p>

事務局	自主的にとの話だが、おおよそどのあたりの金額が目安になるのかと金額は出せそうですか。
会長	報酬額のコ額は例示的に出すのはいかがか。
委員	5万で、1,600万円という話が出て、4年間で減らせられる額が出たと思うが、定数が減れば、現状維持もあり得ると。議員さんの報酬を減らしたい訳ではなく、市の経営が厳しい状況である中、やむを得ないと。議員さんの中で、議員定数の適正化を検討していただけるのであれば、報酬額を減らすという意向が強いというものではないとの意見を書くのはどうか。
会長	議員定数については、そういった意見が多かったので、書くコ良いと思う。ただ、議会全体の報酬額の総額で検討するとすると、このような極端な話にはならないとは思いますが、10人になったら、報酬額が今の倍になるかとの議論になってもいけないので、総額を人数で割ってとの話は、あまり良くないように思う。
委員	答申しても必ずしも答申どおりにはならないのですよね。ただの目安ということですよ。答申で10万円下げましようとのことになっても、結果的に決めるのは、市長の判断や議会の判断になりますよね。
会長	答申については、ホームページにも掲載されますよね。 一般に広く示されるものになるので、答申を全く無視するというのは、相当の批判を受けることになると思う。
委員	浴びないですよ。頑張ってきてと周りから言われた。
会長	逆に、議員を選ぶ方が勉強しないといけないこと。
委員	議員報酬額と定数については、みなさん厳しい意見をお持ちだ。 付帯決議を付けて答申すべきでは。
会長	付帯決議を付ければ、現状維持でもいいのか。

委員	私だけの意見ではなく、色々な関係団体の皆さんの意見を聞いてきているので。
会長	そういう方向で、金額を出すのは、難しいので、減額の方角のみを示すので良いか。
事務局	前回の答申を紹介すると、答申書には結論として、「議員報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の額については、次のとおりとすることが適当である。」として、議長、副議長、議員、市長、副市長、教育長の金額を示している。現状維持の場合にも金額を出した答申書であった経緯はある。
委員	金額を変えるといいですね。減額とは書かずに金額のみを示せば、減額とは出ないが。
事務局	増額、減額、据え置きなどの表現をするようになる。
会長	今まで、減額や増額をしたときの根拠はどのようなものだったか少し知りたい。 この場で決めるのは、難しいと思うので、もう一度審議会を開催しましょうか。他市の減額や増額をした事例を調べていただければ。
委員	丸亀は、千円でもアップしている。
会長	下げるのであれば、千円からでも良いとは思う。それが意思表示にはなると思うので。
委員	さぬき市の財政のことを考えて発言をしている。特に、来春に選挙があるので。
会長	来年、市議選も県議選と同じ時期にあるのか。
事務局	日程は異なりますが、4月にある予定です。
委員	最初に5万減額ですとの意見があったが、どういう根拠ですか。

委員	<p>17頁の人口、財政力指数が当市により類似する団体の欄で、10万、5万、7万程度差がある市が記載されており、額的に10万も下げない額が、36万円でしたので、たまたま5万円という数字が出て、基礎計算上の数字で意味はない。</p> <p>もう一つ悩ましいのは、香川県内の報酬額は横並びであるので、私の中でも結論が出ないまま会議に出席した。</p>
委員	<p>県内の他市の状況を見ると結構古い時期に額を改定してから、変わっていないので、もしかしたら、他市も今度から変更しようといった動きがあるかもしれない。財政が厳しい市もあるだろうし。</p>
会長	<p>日程は調整するとして、議員さんの報酬額については、再度協議させていただくことにしましょう。</p> <p>次第の中の「2. 答申書の作成について」は、結論が今回出ていないので、次回の会議の時に話をしましょう。</p>
会長	<p>それでは、次回の審議会についても含めて、事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>〈事務連絡〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬額の支払について ・第3回目の日程調整について
委員	<p>さぬき市は、こういった会議の報酬が、県の2倍ありますよね。県は2千円だ。</p>
事務局	<p>それは、旅費なのか。それとも委員となって報酬を頂くものか。</p>
委員	<p>旅費か報酬によって異なるのですね。</p>
会長	<p>それでは、後は事務局をお願いします。</p>
委員	<p>資料作りについて、5万人が切ったところのI-2の議員数とか報酬額加えて、市長等の3役についても調べてほしい。</p>
事務局	<p>用意しておく。</p> <p>それでは、以上を持ちまして、第2回の審議会を終了します。〈終了〉</p>

